



心臓財団 季報

No.201

● 財団法人日本心臓財団 ●

〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-4-1 新国際ビル 835 区-A

○ Tel 03-3201-0810 ○ Fax 03-3213-3920 ○ e-mail:info@jhf.or.jp ○ http://www.jhf.or.jp/

November 10, 2010

第8回日本心臓財団・アステラス・ファイザー 「動脈硬化 Update」研究助成対象研究者決定

日本心臓財団では、動脈硬化研究の一層の進展と少壮研究者の育成に努めるうえで、動脈硬化領域における研究を行う40歳未満の研究者に対する助成を実施しています。今回第8回の本事業に55件の応募があり、次の5名が助成対象者に決定しました。9月4日に開催された研究発表会で5題のうち上位3題の発表があり、それをもとに最優秀賞1題、優秀賞2題が選考され、残り2題が奨励賞に決定しました。

選考委員(敬称略)

委員長	山下 静也	大阪大学大学院医学系研究科循環器内科学病院教授
委員 (五十音順)	秋下 雅弘	東京大学大学院医学系研究科加齢医学准教授
	上田真喜子	大阪市立大学大学院医学研究科病理病態学教授
	酒井 寿郎	東京大学先端科学技術研究センター教授
	堀内 久徳	東北大学加齢医学研究所基礎加齢研究分野教授
	山田 信博	筑波大学学長
	横手幸太郎	千葉大学大学院医学研究科細胞治療学教授
	横出 正之	京都大学医学部附属病院探索医療センター探索医療臨床部教授

研究助成対象研究者

(順不同、敬称略、金額単位：万円)

番号	氏名	所属	研究課題	金額
1	五十嵐 正樹 (33歳)	東京大学医学部附属病院 糖尿病代謝内科	新規に同定されたコレステロールエステル水解酵素NCEH1のヒトマクロファージ、動脈硬化病変への寄与の解明	200
2	相澤 健一 (38歳)	東京大学大学院医学系研究科 ユビキタス予防医学	プロテオミクスによるKLF5転写複合体解析による新規血管障害メカニズムの解明	100
3	中西 修平 (39歳)	広島大学大学院医歯薬学総合研究科 分子内科学	HDLの役割に視点をのいた動脈硬化性疾患の新規危険因子の検索一日系米人医学調査における多面的検討一	100
4	岩本 紀之 (39歳)	国立循環器病研究センター 糖尿病代謝内科	PKD-AP2経路を標的とした抗動脈硬化薬の革新的創薬開発技術の創成一HDL増加薬の実用化に向けて一	30
5	山本 英一郎 (36歳)	熊本大学医学部附属病院 循環器臨床研究先端医療寄附講座	新規アポトーシス誘導蛋白Apopの動脈硬化における機能解析	30

第15回日本心電学会学術奨励賞

平成22年10月8日から9日まで、iichiko総合文化センター(大分)にて第27回日本心電学会学術集会(会長：犀川 哲典・大分大学医学部臨床検査診断学講座 循環器内科教授)が開催され、9日の総会において当財団が後援している第15回日本心電学会学術奨励賞の授賞式が行われました。

これは日本心電学会の会員で、心電学の進歩に寄与す

る顕著な研究を発表し、将来発展の期待される40歳未満の研究者に贈られるものです。

今回は、瀬尾欣也氏(東京大学大学院新領域創成科学研究科人間環境学)、伊藤英樹氏(滋賀医科大学呼吸器内科)が最優秀賞に、木下秀之氏(京都大学大学院医学研究科内分泌代謝内科)、阿部敦子氏(杏林大学医学部第二内科)が優秀賞に選ばれました。

日本心臓財団&シブヤ大学の コラボレーション

「心臓学科」



日本心臓財団は、シブヤ大学とのコラボレーションにより、現在、「心臓学科」という講座(参加者抽選)を開催しています。シブヤ大学は、渋谷の街を大学のオープンキャンパスに見立て、学問からサブカルチャー、コミュニケーションなどさまざまな講座を開催しているNPO法人です。

当財団では、こうした若い世代に心臓病や健康、医療についての情報を伝え、考えていただくよい機会として、月に一度、全7回の「心臓学科」を実施することにいたしました。

第1回

第1回は、9月18日に「ストレス、あなたの心臓に何が起きているのか」というタイトルで、石川義弘先生(横浜市立大学)を講師にお招きして実施しました。

授業では、心拍計を使って、平常時と簡単な計算や運動をしたときの心拍数を生徒さんに計測してもらうなど、実際の体験を通して、ストレスと心拍数の密接な関係を知っていただき、それがなぜ起こるか、ストレスとどう関わるかなど、医学的、歴史的、文化的背景など、さまざまな角度から解説していただきました。



実際に血圧や心拍数を測定する生徒さんたち。

(協力: オムロンヘルスケア株式会社、カード・ガード・ジャパン株式会社)

第2回

第2回は、10月16日に「ハートに火をつけない」というタイトルで、宮崎恭一先生(日本禁煙学会)を講師にお招きして実施しました。



実際に呼気中の一酸化炭素量を計測する実験や、クロンブスのアメリカ大陸発見とともにヨーロッパに持ち込まれたタバコの葉がどのように広がっていったか、どれほどの毒性と依存性があるかなど、わかりやすくお話ししていただきました。

今後も、AED、メタボと食生活、運動、外科治療などの講座をわかりやすい形にして開催していく予定です。

シブヤ大学・授業コーディネーター
嘉村真由美氏より

comment

今年9月にスタートした日本心臓財団と協働でつくりあげる【心臓学科】は、シブヤ大学で授業企画をしている私にとって数年前からの夢でした。

もともと、【心臓学科】設立の経緯は、昔、私の目の前で突然大事な人が心筋梗塞を起こし、病院に運ばれて一命を取り留めたという経験に端を発しています。「心臓は、一度壊死したら二度と元には戻らない」という当たり前のことが、病気とは無縁だった20代の私に重い事実として残りました。そして、その頃、駅や街中に広まり始めていたAEDを見て、「これなら素人でも心臓病の人を救えるきっかけになる」と思い、20～30代の若者がターゲットのシブヤ大学での講座開催を思いつきました。

そんな時、電車の中で出会ったのがAED普及の公共広告でした。それはAEDが高校球児の命を救った事実を取り上げたものでした。私はそこで「日本心臓財団」の存在を知り、企画を持ちこませてい

ただきました。それが、AEDだけでなく、若い人対象に、さまざまな角度からの心臓についての講義という形になり、本学科設立に至ったという次第です。

「後悔先に立たず」とはよく言われることですが、健康問題に関しては特にそうではないでしょうか。若いうちからのほんの少しでも予防の知識を持つことは、何も知らずに突然大事に至るよりも、どんなに賢い選択でしょうか。

今後、本学科を通して受講者の皆さんにはよりリアルに心臓をめぐる諸問題を知っていただき、ご自分のこれからの生き方に活かしていただければと思っています。とはいいつつも、研究者や医師である先生方と直接お話しでき、何より勉強になっているのが授業企画者である私であることは確かかもしれません。

募集のお知らせ

第24回

日本心臓財団・バイエル薬品海外留学助成

1. 助成対象

心臓病・脳卒中・高血圧・動脈硬化症等の循環器領域の研究に携わる研究者

2. 助成金額

1件300万円とし原則として10件

3. 応募資格

次の事項のすべてに適合する者

- 1) 初めての海外留学であること
- 2) 40歳未満(1971年4月1日以降生まれ)で日本国籍を有すること
- 3) 1年以上留学すること
- 4) 留学先研究機関の責任者または受入者の承諾を得ていること
- 5) 一定の研究業績を有すること
- 6) 2011年4月1日～2012年3月31日の間に出発の予定であること

4. 応募期間

2010年10月1日～11月30日(消印有効)

第7回

日本心臓財団・ノバルティス循環器分子細胞研究助成

1. 助成対象

循環器領域における分子細胞生物学的研究の進歩に著しい貢献が期待される研究者とする。研究対象は基礎あるいは臨床の別は問わない。

2. 助成金額

1件100万円を10件

3. 応募資格

- 1) わが国に在住する者
- 2) 年齢が40歳未満(2010年4月1日時点の年齢)
- 3) 原則として臨床系教室およびそれに準ずる施設
- 4) 原則として個人研究
- 5) ただし、次の事項に該当する場合は応募できない
 - ① 過去に本研究の助成対象者となった者
 - ② 前年度の助成課題の連続応募
- 6) 応募は一人一題とする

4. 応募期間

2010年12月1日～2011年1月31日(締切日必着)

日本心臓財団40周年記念 「心臓」特別号



日本心臓財団40周年記念誌が完成いたしました。今回は、当財団が発行している学術情報誌「心臓」の特別号として、最新循環器医学の話題とともに、財団の歴史・話題を掲載する形をとりました。

巻頭トピックスは、日本と海外における心臓病治療の臨床試験に関する最新の話題です。心不全、冠動脈疾患、心房細動について、最新の動向を第一線の先生方にご執筆いただきました。

続いて、当財団顧問の杉本恒明先生に「Meet the History」という当雑誌人気企画の対談コーナーで、杉本先生ご自身が医学を目指した理由や当財団との関わりを詳しくお話いただきました。

さらに、当財団顧問の先生方に、若き医師たちへの提言を語っていただきました。

巻末には、当財団助成・褒賞者一覧および歴代役員一覧を掲載しています。

季報とともに同封いたしましたので、ぜひご一読ください。

40周年記念特別号 CONTENTS

Open Heart

日本心臓財団40周年を迎えて 矢崎 義雄

Heart's Selection

- 心臓病 Up to Date
日本と海外における Late Breaking Trial & On Going Trial 2010
企画 山口 徹
- Selection 1 収縮機能低下型心不全 堀 正二
 - Selection 2 拡張機能低下型心不全 後藤 大祐ほか
 - Selection 3 冠動脈インターベンション治療 一色 高明
 - Selection 4 急性冠不全の薬物治療 伊藤 誠悟ほか
 - Selection 5 心房細動薬物治療 山下 武志
 - Selection 6 心房細動アブレーション治療 熊谷浩一郎

Meet the History

日本心臓財団のあゆみと医学への道-杉本恒明先生に聞く
ゲスト:杉本 恒明
ホスト:百村 伸一

日本心臓財団40年のあゆみ

Heart's Vision

若き医師たちに~これからの循環器医学に関する提言
尾前 照雄 河合 忠一 川島 康生 篠山 重威
外山 淳治 山口 武典 山田 和生

Heart's Data

研究奨励一覧、学術褒章一覧
歴代役員一覧

ご支援ありがとうございます

当財団へのご寄付

次の方からご寄付を頂戴しました。ここにご芳名を記して感謝の意を表します。(2010年9月~10月)

匿名		10,000円
匿名		100,000円
匿名		11,333円
匿名		50,000円
匿名		20,000円
匿名		100,000円
株式会社東横イン様	東京都大田区	100,000円
福原 卓也 様	京都府木津川市	2,000円
匿名		8,333円
匿名		500,000円

当財団をご支援下さる方

本年度もご支援をいただいた方のご芳名を掲載します。(2010年9月~10月)

中村 元行 様	渡部 良夫 様	荻野 和郎 様
笠原 宏 様	橋本 敬太郎 様	藤田 正俊 様
匿名 1名		

心臓財団からのお願い

~ご寄付ならびに賛助会ご加入~

当財団が循環器疾患の予防・制圧事業を展開するうえで、その多くは寄付金ならびに賛助会費により支えられております。あなたのまわりの方にもぜひ呼びかけてください。

ご寄付はいくらでも受けさせていただいております。当財団は「特定公益増進法人」として認可を受けておりますので、税制上の優遇措置が講じられております。

ご支援いただける場合は、下記の口座をご利用ください。

郵便振替口座 00140-3-173597
宛て先 財団法人日本心臓財団



●お近くにお越しの際はお立ち寄り下さい。●